

## 住宅改修 & 福祉用具あれこれ

ご自身の障害や体の状況に合わせた福祉用具を使用したり住宅改修を行ったりすることで、ご自宅での生活がぐんと楽になることがあります。このコーナーでは、便利な福祉用具や住宅改修の例を紹介いたします。

### 置だけ手すり「たっちあっぷFB」



ベッド・布団・長いす等から立ち上がり、起き上がり等の動作をする際、手でつかまることができます。手すり部分は樹脂を使用しているので金属の冷たさを感じません。また手すり部分には蛍光ラインが塗装してあり夜でも安心です。3種類の中から用途に応じて選べるのも特徴です。

- ベース外寸：50×90cm
- 高さ：70～80cm(5cm間隔4段階)
- レンタル価格：月額2,500円  
(介護保険適用自己負担250円)

情報提供/フランスベッドメディカルサービス(株)大分営業所

## あけのギャラリー

当病棟の患者様の中には、趣味を活かして創作活動を行う方がたくさんいます。目的は人それぞれ異なりますが皆様一生懸命です。作品は多目的ホールに飾られ、お互いに励ましあう光景も見られ、病棟の雰囲気をも明るくしてくれており、ご家族や病棟スタッフにも好評です。これからますます素晴らしい作品を期待しています。



小さく折った広告を組み合わせて作っています。緻密！



鳥のぬいぐるみにマフラーを編んでみました♡



彩り鮮やかなティッシュBOX  
いい仕事してますねえ！

医療法人社団 唱和会  
**明野中央病院**  
日本医療機能評価機構 認定病院

診療科目 内科・外科・消化器科・肛門科・リウマチ科・整形外科・形成外科  
リハビリテーション科  
病床数 75床 [2F/一般病棟45床(亜急性期病床10床含む)]  
[3F/回復期リハビリテーション病棟30床]

発行日 2007年8月  
発行 明野中央病院  
回復期リハビリテーション病棟運営委員会  
〒870-0161 大分市明野東2丁目7番33号  
TEL 097-558-3211(代表) FAX097-558-3709

URL <http://www.coara.or.jp/~akenohp/>  
E-mail [akenohp@fat.coara.or.jp](mailto:akenohp@fat.coara.or.jp)

◎回復期リハビリテーション病棟に関するご相談、お問い合わせは**地域医療・看護支援センター 佐藤**まで◎

# あけのスケッチ

AKENO vol.1 SKETCH

## 「回復期リハビリテーション病棟開設によせて」

明野中央病院 院長 木下 昭生



当院は、本年2月「回復期リハビリテーション病棟」を開設しました。回復期リハビリテーション病棟とは、脳卒中や骨折の患者様に早期に本格的なリハビリを提供することにより、より早く離床を促す病棟です。この病棟では、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ソーシャルワーカー、栄養士などでチームを組み、患者様一人ひとりの活動レベルに合ったリハビリテーションを提供しています。そのため訓

練はリハビリテーションセンターだけでなく、病棟や病室で直接行うこともあります。回復期リハビリテーション病棟がスタートしはや6ヵ月、厳しいリハビリに耐え、入院時には全く歩けなかった患者様がしっかりと歩いて退院される光景をたくさん目にすることができるようになりました。この間、他の多くの病院から、急性期治療をうけた患者様をご紹介いただきました。これらの患者様が、1日も早く笑顔で退院されるのが我々スタッフの一番の望みであり目標であると考え、さらに質の向上を目指し日々努力しております。今後とも明野中央病院回復期リハビリテーション病棟をよろしくお願い申し上げます。



リハビリテーションスタッフ

- 理学療法士…7名
- 作業療法士…3名
- 言語聴覚士…1名
- 健康運動指導士…1名
- 助手…1名

## 看護スタッフより ～看護の心はひとつ～

みなさんこんにちは！

3階病棟に回復期リハビリテーション病棟を開設して6ヶ月が過ぎました。「病棟での生活すべてがリハビリです」と患者様を励まし、また患者様の一生懸命な姿に私たち自身が勇気付けられた半年間でした。「安全と安楽を第一に患者様中心の看護を実施する」これは私たち看護部の理念です。1日も早くご自宅に帰ることができるよう精一杯お手伝いさせていただきます。私たちの病棟で早く元気になって下さいね。



「いつも笑顔を忘れずに」病棟看護スタッフ



## 多目的ホールから、こんにちは。

回復期リハビリテーション病棟の「多目的ホール」は、当病棟専用のリハビリ・レクリエーションスペースとしてさまざまな活動が行われています。



3階多目的ホールでは、毎日、訓練ベッドを使った運動や畳の上での日常生活訓練など、よりご自宅に近い環境でのリハビリを行っています。また、患者様のレクリエーションスペースとしても使われています。以前は、1階のリハビリテーションセンターでの訓練以外の時間は病室のベッド上で過ごすことが多かったのですが、このホールができてからここで過ごす時間が増えました。他の患者様と一緒に囲碁や将棋、書道、塗り絵、音楽鑑賞をするなど、同じ時間を共有し会話もはずみます。ここでは患者様同士お互い励ましあいながら、退院に向けて日々リハビリに頑張っています。



輪投げや貼り絵などのレクリエーションもリハビリになります。

## 痛みと不安を乗り越えて

入院や治療、リハビリテーションには誰もが少なからず不安を抱えています。そんな不安を軽減するのは、時に他の患者様の経験や言葉です。入院中のHさんの場合をご紹介します。



Hさんは他の病院で腰の手術を受けた方ですが、退院後の日常生活に対する不安があり、リハビリ目的で当病棟に入院となりました。入院時、左足にしびれもあり、4点杖を使ってゆっくり歩ける程度で、食事の時以外は座ることもできませんでした。リハビリで腰を触られると金属が入っているため「とても怖くて不安だった」といいます。しかし、担当の理学療法士と信頼関係もでき、「今ではしびれも軽くなりとても楽になった」と喜んでいます。退院後はグランドゴルフや園芸ができることを楽しみにリハビリに頑張っているところです。

スタッフ一同応援しています！

## うちのイチオシ！

回復期リハビリテーション病棟は、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・ソーシャルワーカー・栄養士など、さまざまな職種がチーム医療により患者様のリハビリテーションを行います。ここでは、当院の個性あふれるスタッフを紹介します。

Staff 1



リハビリテーション部  
主任 理学療法士 後藤 圭子

私の趣味は体を動かすことで、現在バレーボールとフットサルで汗を流してストレス発散しています。そろそろビリーに手を出そうかと・・・(みなさんビリーズブートキャンプご存知ですか?)

大分リハビリテーション専門学校を卒業し当院へ勤務して5年が過ぎました。モットーは「明るく・楽しく」です！患者様と毎日病棟で過ごす中で、多くの笑顔を生み出していけるよう病棟スタッフとともに励んでいきたいと思っています。私たちの☆カイクリハ☆は始まったばかり。まだまだ発展途上ですが、さまざまなアドバイスをいただきながら皆様に充実した入院生活を送っていただけるよう、取り組んでいきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします！

## 在宅生活を支えます

#001 訪問看護ステーション・ふくろう

退院後のご自宅での生活をお手伝いする医療、介護のサービス事業所を紹介します。第1回は当院併設の「訪問看護ステーション・ふくろう」です。

「こんにちは」「まっちゃんたで」

定期的な訪問し顔を見て挨拶を交わす。そうしたやりとりの積み重ねの中から、時にご本人の身体的、精神的なSOSを発見し、大事を未然に防ぐこともあります。それは訪問看護にしかできない看護のあり方であり、病気や障害があっても住み慣れたご自宅で自分らしく生活したいと考える患者様にとって大切な医療サービスのひとつであると考えます。

日々の健康管理や医療的処置、またリハビリテーションなど、「訪問看護ステーション・ふくろう」では経験豊富な看護師や理学療法士がご自宅に伺い、安心して在宅療養ができるお手伝いをいたします。



「安心」をお届けします

◆お問い合わせ◆

訪問看護ステーション・ふくろう  
☎ 097-558-3211 淵野まで